

平成14年度教科教育課特別研修員研修資料（国語科学習指導案）

群馬県立吾妻高等学校 教諭 内藤 晴行
平成14年11月7日（木）第5校時
普通科2年C組（選択女子23名）

1 題材

煥乎堂『高校生のための 群馬の文学（改訂第2版）』（群馬県高等学校教育研究会国語部会）
～ 出会いの過程
～ 広げる過程 ……（…本時）
～ まとめる過程

2 生徒の実態

本校の生徒は、部活動や学校行事などを中心に、前向きに取り組むが、おとなしく素直で授業に対しては受け身がちな傾向が見られる。しかし、定期考査の前や就職・進学指導などでは、個人的に職員室に質問や相談に来る生徒が多く見受けられる。また、言語活動としての、廊下でのあいさつや、部活動終了後下校するときなどに「お疲れさま。」の一言が言える生徒たちである。国語の授業においても、発言は少ないものの前向きに取り組む姿勢が見受けられる。内容として、文章の読解、古文の口語訳、漢文の訓点、書き下し文などの基礎・基本の力を培うことを中心としている。また、朝学習では漢字の読み書きの練習を行っている。そして、国語の進学補習や漢字検定など前向きに取り組む姿勢も見受けられる。

このクラスで半年余り教鞭をとって感じたことは、なぜ、あれだけ部活や学校行事は主体的に動けるのに、授業は受動的なのであろうかということである。2年C組は、まじめで学習に対する意欲も高く、担任の指導の行き届いたクラスである。授業も、真摯な態度で行うことができる。しかし、生徒個々が目的意識や問題意識をもって授業に臨んでいるのかどうかという課題がある。本授業は選択の古典であるため、文系の進学を目指している生徒が選択をして集まったクラスである。授業内容は、本文を書き、口語訳をしながら、文法事項を紹介して内容を終えるものが中心である。辞書を引くときなどは、難解語句が出てきたら、それを調べてノートに書いている。しかし、古典文学に対して、はるか遠い昔のもの、自分とは無縁なものとしてとらえてしまっているようである。本授業では、地域文学が、自分たちの生活の一部であることに気付き、文学を、読んでみよう、調べてみよう、そこに込められた思いを感じ取ろうという気持ちを育成したいと考えた。

3 教材観

国際化時代に生きていく上で、最も大切なことは、各国の文化に理解をもつことはもちろんのこと、自国文化への理解と認識を深めることであり、さらには、郷土群馬の歴史や文化についての理解と認識を深めることでもある。地域文学を読み、興味を抱いたものについて様々な角度から調べ、調べる面白さを感じるだけでなく、地域文学とのつながりを知ることにより、自分と文学との関係を深めていくことにもなる。地域文学は、『高校生のための 群馬の文学』を使う。その中でも、生徒が多く住み慣れ親しんでいる地域（例えば、吾妻・渋川・利根などの郷土）に主眼を置く。この学習を通して、調べたことや聞いてきた多くのことから自分の思いをまとめる力が高まるであろう。また、それぞれの生徒が自分の思いを発表し、評価し合うことから、聞き手の反応としての課題意識をもって聞くようになる力が高まるであろう。そして、題材が見聞き知っている地域であることから、級友の学習の様子や発表、自分の思いとそこに込められた思いとの対比や、生徒が互いに評価し合うことを通して、郷土を再発見することになるであろう。

4 単元設定の理由

『高校生のための群馬の文学』は、生徒自身が、文学を学び合う面白さや自ら文学を学ぶ喜びを感じ、自ら文学を読んで楽しむ力を育てる題材であると考え、本単元を設定した。生徒自身が興味をもった題材とそうでない題材とでは、授業に対する気持ちの入れ方に格段の差が現れる。過去に聞いたことのある話や、知っている名前、知っている場所、少しでも学習したことのあるものには、興味を抱いたり、身近に感じるようである。この題材を特設することで、生徒は、知っている名前や場所、住んでいる地域の話、ふだん何となく通っているところや行ったことのある場所に、興味を抱くと思われる。本題材を通して、地域文学の存在や自分とのつながりに気付き、自分たちの住む地域を再発見してほしいと考えるものである。

5 指導目標

- ・『高校生のための 群馬の文学』から、興味を抱いたものを探し出し、自分の思いをまとめる。
- ・発表に向けて、自分のまとめた思いを伝えられるように、内容を推敲し、準備する。
- ・地域文学と自分とのつながりに気付く。

6 本時の指導目標(本時の評価規準)

- ・「出会いの過程」で触れたものが、教材の中にあるので、気付く。
- ・『群馬の文学』に触れることによって、自分が住んでいる地域や群馬の文学について、新しい発見をする。
- ・何か一つでも気になったり、興味を抱いた項目を見つけ出す。
- ・教材の中から、自分の思いをもとにして調べ学習に取り組む。

7 展 開 (は、本時の中心となるねらい)

	学 習 内 容	支援及び指導上の留意点(指導観)	時
導 入	あいさつ、出欠確認(いつも通り全員呼名する)、 前時までの学習の確認。	呼名に対し、返事をしているか確認。 『群馬の文学』、ノート、辞書等、授業準備が できているか。	10
展 開	『群馬の文学』の巻末にある「群馬県文学史略年 表」と「群馬の文学地図」などを見る。 ・「文学地図」から、何か知っている人物名が あるか、5名指名し、答える。 ・「文学史年表」から、特に、出会いの過程で触 れた「吾妻・渋川・利根など」について見てみ る。 ・「出会いの過程」で、生徒が触れた作品や人物 名などの項目があれば紹介する。 ・本校が春の行事として行う「暮坂強歩大会」 について触れる。暮坂峠にある「若山牧水の 詩碑」について触れる。 『群馬の文学』の中から、自分が興味を抱いたも の、調べたいと思ったものから、いくつか項目を 上げる。 ・自分が興味を感じ、いくつか上げた中に、教科 書に取り上げられているものもあるため確認す る。 (目次や、教科書に目を通す) いくつか上げた項目の中から、自分が興味を抱き、 調べたり、発表したいと感じたものをできるだけし ぼる。	「文学地図」を中心に、教材を自分から見ている かどうか確認する。 (指名された生徒が、答えやすいような雰囲気を作 る。) (自分が感じた答えを言っているかどうか確認す る。同時にまわりの生徒の反応も確認。) (名前や作品が出てきた事項について、エピソード や歴史などを説明できるようにしておく。) (この話に対して、どのように感じているのか、 生徒の反応を見る。) 「出会いの過程」で触れたものが、もしかしたらあ るかもしれないので、教師が言う前に、気付けるよ うにする。 (興味を感じたものを選び出しているか確認す る。) (机間巡視し、個々に、出会いの過程で調べたも のを最大限生かしながら、項目が上げられるよ うにする。) (生徒が住んでいる、「吾妻・渋川」地域を中心 に、教材も交えて草津・岩櫃・伊香保・四方な どの話や歴史などを伝え、何を調べていけばよ いのが実例等を示す。) 自分が住んでいる地域や群馬について、自分なりに 新しいこと発見をする。 何か一つでも、気になったり、興味を抱いた項目 を見つけ出す。 自分なりに新しいことを発見した地域や群馬につ いて、調べ学習に向けて、教材から、最終的には 一つにしぼり、ようにし、個々に興味を持ったこ とに課題として取り組む。	53
まとめ	本時のまとめ 次時の予告	本時のポイントの確認、そして 次時の予告をす る。 次時の、ポイントを説明する。	5

8 評価の観点(反省・次時への示唆)

- ・呼名や指名されたときに、しっかりと返事をしている。
- ・『群馬の文学』、ノート、辞書等、授業に対して準備している。
- ・「出会いの過程」で触れたものが、教材の中にあることに気付く。
- ・『群馬の文学』から、自分が住んでいる地域や群馬の文学について、新たな発見をする。
- ・次時からの調べ学習に向けて、自分が興味を抱いた教材について取り組んでいる。

9 本時の指導目標(本時の評価規準)個人用 (は、本時の中心となるねらい)

呼名や指名されたときに、返事をする。

- ・下を向いたままではなく、人の方を向いて、自分なりに返事をしている。(C B)
- ・自分からしっかりと、責任をもって返事をしている。(B A)
- 『群馬の文学』、ノート、辞書等、授業準備している。
- ・『群馬の文学』を家で探し出し、つてきている。(C B)
- ・『群馬の文学』を見始め、何が書いてあるか見ている。(B A)
- 『群馬の文学』の「文学地図」などから、教材を自分から見ている。
- ・指示されたところだけでなく、他の部分も自分から教材を見ている(C B)
- ・自分が興味を抱いた場所や人物名に着目し、調べ学習に向け選んでいる。(B A)
- 「出会いの過程」で触れたものが、教材の中にあることに気付く。
- ・「出会いの過程」で自分や級友の調べたものが、この教材の中にあるかもしれないということに気付く。(C B)
- ・自分が住んでいる地域が、歴史や文学とつながりがあることに気付く。(B A)
- 『群馬の文学』から、自分が住んでいる地域や群馬の文学について、新たな発見をする。
- ・何か一つでも気になったり、興味を抱いた項目を見つけ出す。(C B)
- ・自分の思いをもとにして調べ学習に取り組んでいる。(B A)

10 展開

	学 習 内 容	支援及び指導上の留意点(指導観)	時
導 入	あいさつ、出欠確認(いつも通り全 員呼名する)、 前時までの学習の確認。	呼名に対し、返事をする。 ・呼名に対し、人の方を向いて自分なりに返事をしている。(C B) ・呼名に対し、自分からしっかりと返事をしている。(B A) 『群馬の文学』、ノート、辞書等、授業準備している。 ・『群馬の文学』を家で探し出し、持ってきている。(C B) ・『群馬の文学』を見始め、何が書いてあるか見ている。(B A)	10
展 開	『群馬の文学』の巻末にある「群馬県文学史略年表」と「群馬の文学地図」などを見る。 ・「文学地図」から、何か知っている人物名があるか、5名指名し、答える。 ・「文学史年表」から、特に、出会いの過程で触れた「吾妻・渋川・利根など」について見てみる。 ・「出会いの過程」で、生徒が触れた作品や人物名などの項目があれば紹介する。 ・本校が春の行事として行う「暮坂強歩大会」について触れる。暮坂峠にある「若山牧水の詩碑」について触れる。 『群馬の文学』の中から、自分が興味を抱いたものから、いくつか項目を上げる。	教材を自分から見ているかどうか確認する。 ・自分から、教材を見ている。(C B) ・自分が興味を抱いた場所や人物名について着目し調べ学習に向け選んでいる。(B A) (指名された生徒が、答えやすいような雰囲気を作る。) (自分が感じた答えを言っているかどうか確認する。同時にまわりの生徒の反応も確認。) (名前や作品が出てきた事項についてエピソードや歴史などを説明できるようにしておく。) (この話に対して、どのように感じているのか、生徒の反応を見る。) 「出会いの過程」で触れたものが、教材の中にあることに気付く。 ・「出会いの過程」で自分や級友の調べたものが、この教材の中にあるかもしれないということに気付く。(C B) ・自分が住んでいる地域が、歴史や文学とつながりがあることに気付く。(B A) (興味を感じたものを選び出しているか確認する。) (机間巡視し、個々に、出会いの過程で調べたもの	53

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が興味を抱き、いくつか上げた中に、教科書に取り上げられているものもあるので確認する。(目次や、教科書に目を通す) <p>いくつか上げた項目の中から、自分が興味を感じ、調べたり、発表したいと感じたものをできるだけしぼる。</p>	<p>を最大限生かしながら、項目が上げられるようにする。)</p> <p>(生徒が住んでいる、「吾妻・渋川」地域を中心に、教材も交えて草津・岩櫃・伊香保・四万などの話や歴史などを伝え、何を調べていけばよいのか実例等を示す。)</p> <p>『群馬の文学』から、自分が住んでいる地域や群馬の文学について、新たな発見をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か一つでも気になったり、興味を抱いた項目を見つけ出す。(C B) ・自分の思いをもとにして調べ学習に取り組んでいる。(B A) 	
まとめ	<p>本時のまとめ</p> <p>次時の予告</p>	<p>本時のポイントの確認、そして 次時の予告をする。</p> <p>次時の、ポイントを説明する。</p>	5

11 評価の観点(反省・次時への示唆)

- ・呼名や指名されたときに、しっかりと返事をしている。
- ・『群馬の文学』、ノート、辞書等、授業に対して準備している。
- ・「出会いの過程」で触れたものが、教材の中にあることに気付く。
- ・『群馬の文学』から、自分が住んでいる地域や群馬の文学について、新たな発見をする。
- ・次時からの調べ学習に向けて、自分が興味を抱いた教材について取り組んでいる。

指導計画(全14時間予定)

「出会いの過程」(1、2、3、4、5時間・6時間目は「見直し」)

出会いの過程において、文学とのかかわりを身のまわりから感じるよう、人々との交流や取材で話を聞いたり、資料を調べたり、自分が興味を抱いた思いをまとめ、発表し、自己評価し、身近なものを再発見するための調べ学習を取り入れれば、文学を学び合う面白さを感じるようになり自分が住んでいる地域文学の存在に気付くことに有効であったか

過程	時間	ねらい	学習活動	教師の支援	評価項目(方法)
出 会	1	<p>調べ学習をしていくことについて、何をすればいいのかわかりやすくしようとする。</p> <p>自分が興味を抱いたことを模索し、探し出そうとする。</p>	<p>生徒が住んでいる吾妻・渋川・利根を中心にまとめた文学や歴史等まつわるQ&Aをする。(プリント)</p> <p>プリントの答え合わせから、生徒たちが住んでいる地域とのかかわりを示し、興味・関心を喚起する内容を提示する。</p>	<p>特にB子が住んでいる、「吾妻」地域を中心の話を出し、少しでも興味を抱くように支援する。(B子)</p> <p>興味を抱いたことに対して、どのように学習していけばよいのかを示し、支援する。(A子)</p>	<p>調べ学習に、苦手意識をもっている生徒が、少しでも興味を抱いたことから、調べ学習に取り組もうとしている。</p>
	2	<p>自分で、家族や地域の人々との交流、取材、資料調べ、読書、インターネットなどで調べようとする。</p>	<p>自分の「古典 授業ノート」に、調べたいことなどを書く。</p> <p>地域の人たちとの</p>	<p>個人個人で、興味を持ったことを、資料を調べたり、その地に足を運んだり、地域の人たちとの交流を通して、自分の考えをまとめようとするよう支援する。(A子)</p>	<p>自分から調べ学習に取り組み、読書や取材など、幅広く情報を収集しようとしている。</p>

い			交流や取材などで話を聞いたり、言語活動を通して、自分なりにまとめあげる。	少しでも興味を抱いた題材について、調べ学習が進められるよう助言し、取り組もうとするよう支援する。(B子)	
	3	自分が興味を抱いたことについて、適切に整理し、自分の考えをノートにまとめようとする(下書き)	自分が調べてきたことを、個人ノートにまとめる。(下書き) 個人ノートに清書をペン書きで清書する。	個人ノートにまとめる際に、「古典 授業ノート」に書いてきた自分の調べたものから、自分で取捨選択できるような支援をする。(B子) 個人ノートを自分の思いが伝わるよう工夫しようとするような支援をする。(A子) 清書を、ペンでしっかりと書こうとするよう支援する。(B子)	見聞きしたり、調べたものから、適切に整理しを、自分の考えをまとめようとしている。学習を進める過程で、自分が住んでいる地域文学に対して文学に対し、今まで気付かなかったことに気付こうとしている。
	4	自分の思いが伝わるように発表しようとする。	「2C版 ぐんまの調べ学習個人ノート」を使い、発表する。(個人ノートを見て発表する。)	自分のまとめたものが、みんなに伝えようとするよう支援する。(B子) 個人ノートに書いてあることだけを言うのではなく、工夫して伝えようとするよう支援する。(A子)	自分の思いを級友に向かって、発表しようとしている。自分の思いが伝わるよう、わかりやすく発表しようとしている。
	5	級友それぞれの発表から、文学とのかかわりを身のまわりから感じるようになる。	「2C版 ぐんまの」を見ながら、一人一人の級友の「調べ学習」を拝聴し、資料を見る。	級友の調べ学習の発表を自分から聞こうとするようにする。(B子) 級友の発表を聞き、自分の調べ学習と対比させて考えようとするようにする。(A子)	自分の発表のことだけを考えず、ほかの人の発表を真剣に聞こうとしている。ほかの人の調べ学習から、自分の調べ学習との対比や反省などをしようとしている。
	6				《意欲・関心・態度》
				見 通 し	1

「広げる過程」(7、8、9時間・10時間目は「見通し2」)

広げる過程において、地域を題材にした『群馬の文学』から、新たな発見をした文学に気軽に触れられるよう、資料を調べ、自分のノートに書き出し、個人ノートに自分の思いをまとめるための調べ学習を取り入れれば、自ら文学を学ぶ喜びを感じるようになり、地域文学と自分とのつながりに気付くことに有効であったか

過程	時間	ねらい	学習活動	教師の支援	評価項目(方法)
広		『群馬の文学』から、自分が興味を引いたものを探している。	一年次に配布された『群馬の文学』について、概要を説明し、出会いの過程のQ&Aのプリントなどで教師が触れたことと	「文学地図」や「挿入写真」「挿し絵」などを参考にして自分から教材を見るよう支援する。(B子) 「文学地図」から、知っている場所や人物名を見	自分が興味を抱いた題材を見ている。 興味を抱いた場所や人物名について

げ	7	自分が興味を抱いた文学について、自分から調べ学習に取り組んでいる。	シクさせて、この中から、生徒が興味を抱いた文学を調べる活動をする。	て、興味を抱くよう支援する。(A子) 「出会いの過程」で触れたものが、あったとき、教師が助言する前に気付くよう支援する。(A子・B子) 興味を抱くような項目を見つけ出すよう支援する。(B子)	調べる。 「出会いの過程」で自分や級友の調べたものがあることに気付く。 自分が住んでいる地域文学と自分とのつながりに気付く。
	8	自分が興味を抱いた文学について、自分の考えをまとめている。	『群馬の文学』を見て、自分が興味を引いた題材内容を調べる。	「出会いの過程」と同じように取り組むよう支援する。(B子) 調べてきたことに疑問を感じたら、その疑問を解消し、課題を解決するよう支援する。(A子)	自分が興味を抱いた題材に関する情報を、読書や取材、観察などに幅広く収集している。
	9	地域を題材にした『群馬の文学』から、新たな発見をした文学に気軽に触れている。	幅広く収集したものから、適切に整理し、自分の考えをまとめる。	興味を抱いた自分の思いをまとめるよう支援する。(A子・B子)	幅広く収集したものから、適切に整理し、自分の考えをまとめている。 《書く能力》
る	10		見 通 し	2	

「まとめる過程」(11、12、13時間・14時間目は「見通し3」)

まとめる過程において、自分と文学との関係が深くなるよう、調べた地域文学に寄せる自分の思いとそこに込められた思いとの対比や、まわりの生徒との比較や互いに評価し、自分の思いをまとめるための調べ学習を取り入れれば、文学を深く見つめるようになり、自分の心と向き合う資質が育つことに有効であったか。

ま と め	11	発表に向けて、興味を抱いた文学について調べた自分の考えを述べたいことを効果的に表現することを理解できる。	個人ノートに清書をペン書きでまとめる。 的確に話せるように、調べ学習の内容を取捨選択する。	清書を、ペンでしっかりと書くことができるよう支援する。(B子) 個人ノートに、文章だけでなく、絵や写真などの資料を添え、工夫することができるよう支援する。(A子) 生徒が調べたことや内容を、取捨選択する際は、省かざるを得なかったうち容については、あとでそれを生かせる場面を作り出すことができるよう配慮する。(A子・B子)	文章だけでなく、絵や写真などの添付資料を作成できる。 清書の際に、級友に伝わりやすいよう、レイアウトなど工夫して資料を作成できる。
	12	発表の際に、自分の興味を抱いた思いを表現するよう内容を取捨選択し、推敲	「2C版 群馬の文学 調べ学習 個人ノート」を使い、まとめたものを級友の前で発	調べ学習 相互評価カードに、ほかの生徒の発表について、「課題意識」をもって聞くことが理解できるよう考えるよう支	級友の調べ学習の発表について、自分の意見をカードに書き込むことができる。

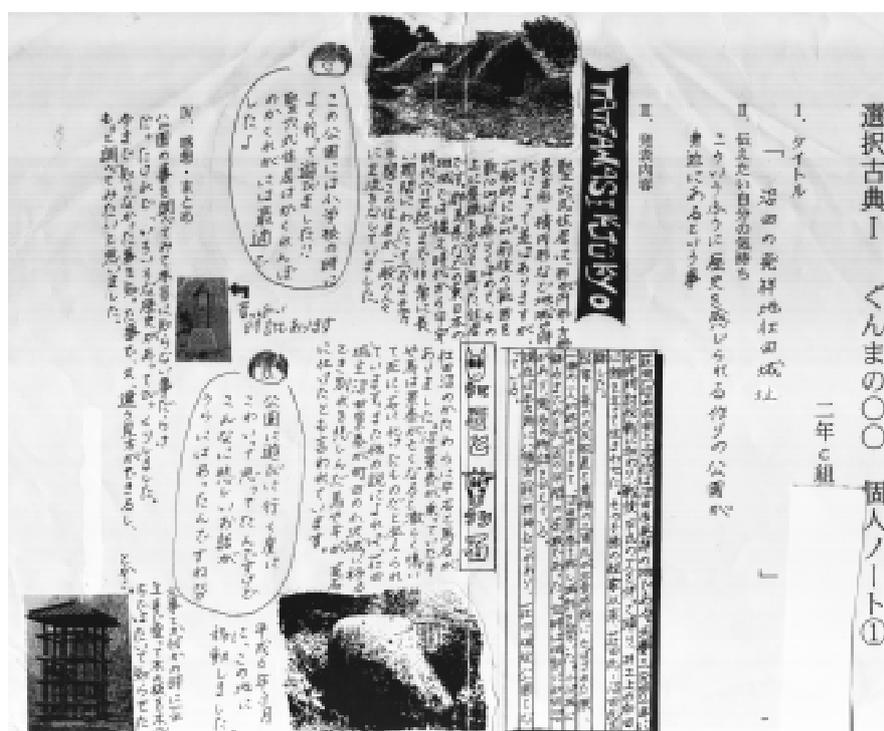
る	1 3	できる。 調べ学習の発表から、他の生徒の思いや調べてきたことを感じ取り、相互評価することによって、自分の思いを伝えることができる。	表する。(発表者は、個人ノートを見ず、自分で原稿等を用意して発表する。2 3名全員) 一人一人の級友の「調べ学習」を拝聴し、資料を見る。	援する。(A子・B子) 原稿を使って発表ができるよう支援する。(B子) 自分の言葉で、自分の思いを文章で表現できるよう支援する。(A子)	級友の調べ学習の発表について、自分の気持ちが伝わるように、書き込むことができる。 原稿を使って、自分の思いを発表することができる 自分の言葉で、自分の思いを表現できる。
	1 4		見 通 し	3	

調べ学習で生徒がまとめたもの

「出会いの過程」(1、2、3、4、5、6時間)

生徒が、「出会いの過程」で個人ノートにまとめたものは、「新田義貞」「大場三郎伝説&文化財探訪」「群馬のハンセン病について」「草津温泉」「白井城の一生」「ハート形に隠された秘密」「赤城の歌舞伎舞台」「岩櫃城の伝説 殿宮と姫宮」「白井宿の歴史」「国定忠治」「日本の三代ケヤキの一つ・槻の木」「四万温泉」などをテーマとしたものであった。住んでいる地域を中心に、短い時間ながらも、自分の考えをまとめようとしていた。またある生徒は、日航機墜落事件を題材に「私の生まれた日(1985.8.12)」という調べ学習に取り組んでいた。「出会いの過程」の最後の「自己評価カード」を見ると、「ほんの一部しか伝えられなかった」「資料を載

資料1 調べ学習 個人ノート



せればよかった」「しっかり準備をすればよかった」などの反省や自分の気持ちを自己評価していた。また、「ハンセン病の人の書いた本を読みたい」「身近にある岩櫃についての伝説や著書を読みたい」「いろいろな本に出会うことができ楽しかった」という、地域文学の存在について気付いた生徒も多くいたようである。